

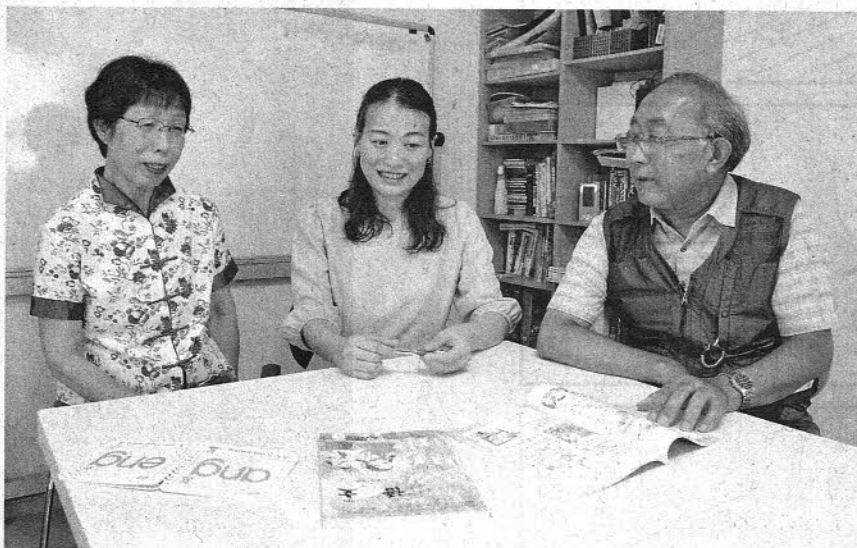
日中の子ども 中国語学ぼう

徳島県日中友好協会は9月、小学生以下を対象にした中国語講座を徳島市で始める。国籍に関係なく受講でき、中国出身の講師が母国の文化などを紹介しながら、親近感を持ってもらう。子ども向けの講座は県内で初めて。

講師は、来県して15年でもらえるよう、親しみになる中国語講師国宏琳 やすい雰囲気をつくりたさん(43)「日本名・橋本 い」と意気込んでいます。恵理、青島市出身、徳島 講座は、台湾や香港を市末広4。中国の小学校 含む中国語圏出身者の中国語の教科書を使って子どもも対象にしている。宅で教える。発音練習が 友好協会によると、日本から始め、「聞く」「話で生まれ育ち、中国語をす」の要素を中心に読み 理解できない子どもが増書きまで段階的に学ぶ。 えているという。習得の中国の遊びや童謡など 場を設けようと、中国出身を取り入れて受講者同士 身の協会理事が提案した。協会はこれまで一般は「中国語に早くなじん 向けの講座しか開いてい

県友好協 来月初講座

小学生以下を対象にした中国語講座の準備を進める国さん(中)ら―徳島市末広4の国さん宅



文化や遊びも紹介

なかった。

2017年の人口動態 プの13人に上る。また、統計によると、県内の国 この年に生まれたハーフ 実際結婚37件のうち、外国 の子ども34人のうち、父

人妻の国籍は中国がトッ

または母が中国籍なのは12人と中国にルーツを持つ子どもが最も多かった。

「中国語圏出身の父母と子どもが里帰りした際に、祖父母と話せるようにしたい。日本の子どもも他国の文化を知れば、

自分の国を大切に思えるようになるはず」と話している。(阿部研一)

子ども向け中国語講座は毎週土曜午後5時半から1時間。受講料は月4500円(きょうだいは2人で8000円)。中国語の語学力は問わない。申し込み、問い合わせは国さん〈電090(9451)7890〉。